

河川の災害に対して自分たちができることを考える

あきらめない街・石巻

# まちづくり技術者を目指して

タブレット端末を、地域防災に活かす

「うちの近くの避難所にはどうやっていけばいいんだろう？」。小学生がタブレット端末を片手に、石巻市内を歩く。タブレット端末には、地域の標高や土地利用等の地理情報が表示されている。石巻工業高校による出前授業で、先生役は同校の生徒たちだ。3年生の石母田怜さんは「小学生は手加減なく質問をしてくる。一緒に街歩きをすることで、僕らも防災や地域について学ぶことが多い」と笑顔で話す。

土木システム科の佐光克己教諭は、3年生の授業の一環として、地域に根ざした防災学習を展開している。ICTを使い生徒たちが地域防災の調査を行い、近隣の小中学生らに出前授業をする。きっかけは、2011年の東日本大震災だったと佐光教諭は語る。



土木システム科のメンバー



出前授業



## 宮城県石巻工業高等学校



この高さまで浸水



地域を調査、分析



調査、分析データを盛り込んだ地域マップ完成!

### ●実施担当

佐光克己 教諭

### ●活動のモットー

ふるさと・石巻の「まちづくり技術者」を目指す高校生に、自分が地域のために果たすべき役割を考えさせるとともに、将来、主体的に地域社会へ貢献する態度を養っていく。

機械科、電気情報科、土木システム科、化学技術科、建築科からなる工業高校。体育会系の部活動も活発。校訓は堅忍不撓。

設立：1963年  
生徒数：677名  
所在地：宮城県石巻市貞山5-1-1

「あきらめない街・石巻」を支える、まちづくり技術者を育てる

海に面し、街を川が横切る石巻市。東日本大震災で津波による浸水被害を受けた。同校でも夕方から徐々に浸水の水位が高くなり、教員らも救済活動に当たった。震災の次の日から復興の活動を始める石巻市民の姿を見て、「あきらめない街・石巻」のために、地域にかかわっていく石巻工業高校生の活動が始まった。「道路や護岸の工事などを行う土木技術者が、今、石巻のまちづくりに求められています」と佐光教諭は話す。

土木システム科の生徒だけでなく、出前授業を通じて近隣の小学生や中学生も巻き込み、石巻を支えるまちづくり人材の育成に取り組んでいる。最近では、大学の研究室や企業と協力して、自らの経験を元に必要と感じている防災グッズの開発も進めている。

(平成28年度プログラム助成)

この活動は、中谷医工計測技術振興財団の「科学教育振興助成」により行われています。



公益財団法人

中谷医工計測技術振興財団

〒141-0032 東京都品川区大崎1丁目2番2号 アートヴィレッジ大崎 セントラルタワー8階 電話:03-5719-2125

シスメックス株式会社創業者の故・中谷太郎氏が私財を投じて設立。医工計測技術分野の発展を願い、「中谷賞」をはじめ各種研究助成、若手研究者支援や国際交流事業を展開。さらに、すそ野拡大のため、科学教育振興活動などに対し、幅広い助成事業を行っています。

中谷財団

検索